

企画展

鳥居龍蔵の学問と世界



2021

2.13_土 - 3.21_日

会場：文化の森 多目的活動室

- 開館時間：9:30～17:00 ●休館日：月曜日
- 観覧料：一般 200円／高校・大学生 100円／小・中学生 50円
- ※20名以上の団体は2割引 ※土・日曜日・祝日は小・中学生及び高校生無料
- ※学校教育による利用は無料 ※障がい者とその介助者1名は無料
- ※65歳以上は100円（割引を希望される方は証明できるものを提示ください）

- 主催：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館／徳島県立博物館
- 協力：国立民族学博物館

 文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
tel 088-668-2544 fax 088-668-7197
<https://www.torii-museum.bunmori.tokushima.jp>

企画展

鳥居龍蔵の学問と世界

2020年度は、鳥居龍蔵（1870-1953）の生誕150周年という節目であり、当館の開館10周年にもあたります。

彼は、生涯を通じて、台湾、中国西南部、中国東北部、朝鮮半島など東アジアを中心に、考古学・民族学・人類学的調査を精力的に行い、次々と成果を発表しました。その主要な研究テーマは、日本人の起源を明らかにすることであり、また一方で、中国東北部・内モンゴルにあった王朝「遼^{りょう}」（10世紀～11世紀）や、巨石文化に関する研究なども行いました。これらのことは、当館が収集し、整理を進めている膨大な遺稿やメモ、ノートなどの研究資料からその片鱗をうかがうことができます。

本企画展では、彼が生涯をかけて追い求めた学問とその世界について紹介します。



(表) 上段：論文執筆中の鳥居龍蔵 下段（左から）：『有史以前乃日本』、原稿、『千島アイヌ』、山東省所在のドルメンのスケッチ、遼の埴と瓦
(裏) 上段（左から）：自宅書齋での鳥居龍蔵、愛媛県大洲市の巨石構造物調査時の写真、大阪府羽曳野市の国府遺跡調査時の写真 下段（左から）：遼の瓦、未刊原稿

【展示構成】

プロローグ 鳥居龍蔵の生涯と学問

- | | |
|-------------------|---------------|
| Ⅰ 日本人の起源を探る | Ⅱ 多様な視点に基づく研究 |
| 1 先住民族を「アイヌ」と確信する | 1 遼の文化を探る |
| 2 「固有日本人」を発見する | 2 巨石文化を発見する |
| 3 南方からの影響を見出す | エピローグ 未完の研究 |
| 4 日本人起源論の確立 | |

【関連行事】

① 展示解説

日時：2月14日【日】 / 2月28日【日】 / 3月14日【日】
いずれも13:30～14:30

会場：文化の森 多目的活動室 ※観覧料が必要、事前申し込み不要

② 鳥居龍蔵生誕150周年記念シンポジウム

「鳥居龍蔵と現代社会 —その学問と資料の意義を問う—」

日時：3月21日【日】 13:00～16:50

会場：文化の森 イベントホール ※先着100名（参加無料）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更になることがあります。



- 徳島駅から
バス…約25分
タクシー…約15分
- 文化の森駅から
徒歩…約35分
- 徳島自動車道「徳島I.C.」から
車…約20分
※無料駐車場有り

文化の森総合公園

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向香山

tel 088-668-2544 fax 088-668-7197

https://www.torii-museum.bunmori.tokushima.jp